

全国教員柔道大会優勝報告

監督 池内隆英

平成23年8月6日(土)東京講道館において第36回全国教員柔道大会が行われ、決勝で東京都が神奈川県に勝ち、2連覇を成し遂げました。

選手は、先鋒：篠崎 悠(國學院久我山高校)
次鋒：野瀬 光洋(昭和第一学園高校)
中堅：小野田 明史(大成高校)
副将：山田 恒平(中大杉並高校)
大将：佐藤 陽介(高輪高校)

開会式では、前年度優勝チームとして、小野田明史選手が選手宣誓を行い大会が始まりました。試合は、1回戦シードで2回戦、初戦の相手チームは高知県と対戦し4対0で勝利、続く3回戦は、大阪府を3対1で、4回戦は長野県と接戦を末、大将の佐藤陽介選手の一本背負投で逆転し3対2で勝利。準決勝戦に臨みました。対戦相手は長崎県でと対戦し、これもまた、接戦の末に3対2で下し、決勝戦に臨みました。

決勝戦は昨年準々決勝で代表戦の末勝利した神奈川県との対戦となりました。神奈川県は過去5回の優勝を果たしておりリベンジに燃えており意気込みも感じられました。

先鋒 篠崎選手は組み手を嫌う相手を巧みに捕まえ、場外際での背負投で技有りを取り優勢勝で先制をする。

次鋒 野瀬選手は互いに攻め合うも決着がつかず引き分け終わる。

中堅 小野田選手は互いに組み合い技を仕掛けたが体勢を崩し倒れ寝技にもつれ込み相手が巧みに腕を制し腕挫十字固で一本負けした。

副将 山田選手は前に出ながら先に組み相手より先に攻める柔道を心掛け相手に指導2与えられ優勢勝ちをする。

大将 佐藤選手は今大会絶好調で相手の挑み、体落としで有効を取り、優勢勝をする。

この結果、3対1で勝利し昨年に引き続き2連覇を果たし3度目の優勝を果たす事が出来ました。この、5名の選手(先生)、今大会に臨みこのような結果を得られたことは、大変うれしく思います。

この大会に臨むにあたって、選手たちの合同練習を国士館高校岩淵先生のご好意により、インターハイ前の大事な時期にも関わらず2日間も練習をさせた頂き感謝申し上げます。国士館高校は、その後行われました秋田インターハイでは国士館高校が優勝し、インターハイに於いては通算11回目の優勝を成し遂げています。

各選手の先生方は日頃から各々学校において選手の指導共に学校教育の現場で「教育としての柔道」を通して柔道に発展普及のため努められている先生方です。改めて敬意と賞賛を贈りたいと思います。

また、決勝戦を前にして選手達には、講道館で行われている大会で、大会役員の先生方や大会係員は、真夏の暑い中最後まで大会を運営している皆さんにも感謝の気持ちを持って決勝戦に臨むよう指示致しました。この優勝は、選手達の活躍は基より今大会の運営に携わって頂いた大会役員の先生方や大会係員に感謝致します。

大会終了後に、福田会長、関根専務、渡邊常務と執行部役員数名の先生方で選手達全員にお祝いをして頂き誠にありがとうございました。

最後に、東京都監督としての大役を果たせたことは、ご理解ご支援頂きました財団法人東京都柔道連盟会長並びに執行部役員の諸先生方を始め、関係各位の皆様方に心より感謝を申し上げ、全国教員柔道大会優勝報告とさせていただきます。



小野田選手による選手宣誓



上村春樹大会会長より賞状が授与



福田二郎大会副会長より日本武道館賞の授与



選手監督並びに都柔連執行部役員との記念写真

第36回全国教員柔道大会結果報告

2回戦	対 高知県									
	4 - 0									
先鋒	篠 崎 悠	×	引き分け	×	和 泉 恵 太					
次鋒	野 瀬 光 洋	⊖	優勢勝ち	△	三 浦 洸 平					
中堅	小 野 田 明 史	○	肩固	△	中 内 康 幸					
副将	山 田 恒 平	○	小外刈	△	宮 下 義 人					
大将	佐 藤 陽 介	○	巴投	△	鍋 島 昭 司					

3回戦	対大阪府									
	3 - 1									
先鋒	篠 崎 悠	⊖	優勢勝ち	△	内 村 直 也					
次鋒	野 瀬 光 洋	○	横四方固	△	小 池 賢 幸					
中堅	小 野 田 明 史	△	優勢勝ち	⊖	小 林 章 男					
副将	山 田 恒 平	×	引き分け	×	生 駒 知 也					
大将	佐 藤 陽 介	⊖	優勢勝ち	△	守 安 義 次					

準々決勝	対長野県									
	3 - 2									
先鋒	篠 崎 悠	⊖	優勢勝ち	△	久 保 田 博 明					
次鋒	野 瀬 光 洋	△	優勢勝ち	⊖	石 川 美 久					
中堅	小 野 田 明 史	○	支釣込足	△	百 瀬 渡					
副将	山 田 恒 平	△	裏投	○	横 山 裕 司					
大将	佐 藤 陽 介	○	一本背負投	△	青 木 和 仁					

準決勝	対長崎県									
	3 - 2									
先鋒	篠 崎 悠	⊖	優勢勝ち	△	近 藤 哲 也					
次鋒	野 瀬 光 洋	○	掬投	△	新 里 哲 史					
中堅	小 野 田 明 史	△	優勢勝ち	⊖	平 井 浩 一 郎					
副将	山 田 恒 平	△	優勢勝ち	⊖	楠 本 一 人					
大将	佐 藤 陽 介	○	一本背負投	△	木 下 寛 人					

決勝	対神奈川県									
	3 - 1									
先鋒	篠 崎 悠	⊖	優勢勝ち	△	田 中 秀 昌					
次鋒	野 瀬 光 洋	×	引き分け	×	田 中 雄 士					
中堅	小 野 田 明 史	△	腕挫十字固	○	廣 川 充 志					
副将	山 田 恒 平	⊖	優勢勝ち	△	紫 牟 田 武 徳					
大将	佐 藤 陽 介	⊖	優勢勝ち	△	岡 村 照 大					

東京都一入 優勝